



卒業研究でセラピーガイド養成講座に参加

12月9日に開催した「森林セラピーガイド養成講座」に、赤来中学校の駒木晴留さん(3年)が聴講生として参加されました。

駒木晴留さんの感想

講習会を受講して、改めて飯南町の森林セラピーの素晴らしさを実感しました。足腰が痛くならないように敷いて



ハンモックでゆらゆら(写真は駒木さん)



新鮮な気持ちで飯南町の森を体感

あったウッドチップはふかふかで、とても歩きやすかったです。主なコースが4つあり、どれも違った景色や特徴があって、歩いているのが楽しかったです。

飯南町の森林セラピーは、五感を最大限に活用して行うことができるので、日常を忘れしつかり癒されることのできたと思います。

今回、この講座を受講しようと思った理由は、卒業研究でセラピーについて調べていて、飯南町で行われている森林セラピーを体験してみたいと思ったからです。それと、昔から森が好きで、小学生のときは近くの森を散歩するのが楽しかったからです。

森林セラピーガイドの役割をたくさん知れて良かったです。今度は、友達や家族と森林セラピーを体験してみたいです。

俳句

琴峯華俳句会 十二月例会作品抄

形なき風が全てを冬にする 安部 豊枝
 年ごとに手を抜いてをり年用意 石田ツカ
 おでんなへ隣もそれとなくにはら 垣内 良野
 朽ち果てし炭焼小屋を山抱く 佐々木康子
 年迫る階段をまた駆け上がる 田部智津子
 報恩講読経の僧の声若し 森 征子

短歌

赤名短歌会 十二月例会詠草

ゆく秋のえのころ草の垂り穂かな草生にこもるほろぎの声 岩佐 恒子
 落葉時すでに新芽はのぞいてる冬空に吹き凩と樹つモクレン 門所 詠子
 天を駆け梢をめぐり舞い乱れ落ちて地に消ゆ雪の花びら 鳥田 勝信
 改築の郵便局を覆いたるブルーシートに冬日たゆたう 澤田久美子
 冬空に見え隠れたりし三日月の白き今宵は母の生まれ日 星野 敦子
 奥嵯峨の紅葉をみわたる道古典の舞台へわれをいざなう 吉川 暎子
 善し悪しをおりませながら足早に戌年もまた暮れ行かんぞ 本間 麗子
 支えられて母は百歳を迎えたりあかぎの里の人ひとに感謝す 澤田 勝登
 常ならず過ぎゆくままの出来事をただ黙然と心に刻む 清原 豊明
 背負ひ来し昭和ありけり平成の冬くれなひに寒椿咲く 石田フクエ

すこやかにかに

12月届出分

新生児 賀奈 ちん 友 美(町区)
 信藤 紗菜 ちん 一 平(上東島)
 安田 祥介 ちん 稔 (敷波)
 田中

やすらやかに

12月届出分

お名前 親族 地区
 那須 サダコ様 清 利(川西)
 山本 登 様 秀 二(町区)
 中原 ワイ 様 隆 正(角井)
 落合 善吉 様 玲 晃(町区)
 平石 譽實 様 玲 晃(町区)
 木村 一枝 様 毅 (下赤名)
 松田 隆悟 様 隆 治(野萱)
 三上 昇 様 仁 史(小田)
 杉木 正 様 宏 旨(野萱)
 三島 友之 様 義 文(寺西)
 森山 トシエ 様 吾郷須字(川西)
 東代 孝広 様 晴 俊(小田)
 藤原 墨枝 様 健 次(町区)

今月の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

言ってみよう
まほうの言葉
ありがとう

赤名小5年 明見 楓蒼さん
 家族名 明見 愛美さん

標語に込められた思いを町民みんな
 などで意識し、差別や偏見のない明るい
 いまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

実に4年ぶりに雪のあるお正月を迎えた飯南町。県内でも有数のブナ原生林が広がる「大万木山」も雪に覆われました。
 山頂へ続く尾根に出ると、ブナの木の黒枝に積もった雪の白、青空、そして新年の太陽の光のコントラストがとてもきれいでした。雪があるからこそ見られる景色。



飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会



まちを食べ巡るマップ

設立から10年を迎えた、国道54号活性化アクションプラン推進協議会。しかし、どんな目的で、どんな活動をしているのか知らない人も多いのでは？本協議会の取り組みを連載で紹介しします。

■問合せ
 国道54号活性化アクションプラン推進協議会(い〜にゃん人つなぎ協議会)
 電話76・2864(地域振興課)

飯南町の「食」の魅力を高める活動

「食部会」では、飯南町のおいしいものの魅力を高める活動をしています。過去には、「舞まいうどん」の商品化やい〜にゃんグルメバトルの開催などに取り組みました。

酒粕をつかった商品開発を進めています

現在、「酒粕」を使ったスイーツやパン、粕汁などが、町内で販売されています。この酒粕の魅力をさらに高めていければと思います。飯南町唯一の酒蔵である株式会社赤名酒造に着目し、「年間を通じて、無理のない、食べて楽しめるもの」をコンセプトに、商品開発を進めています。

- ・町内外で販売できる酒粕商品の開発
- ・町内飲食店で提供できる酒粕料理の開発
- ・自宅で気軽に酒粕料理ができるように、酒粕の供給サイクルの構築

家庭料理の定番の一品に

酒粕は百薬の長とまで言われ、発酵食品としての話題性もあり、さらに、家庭の食卓の定番の一品として継承されることも期待されます。酒粕料理の講習会や酒粕料理イベントへの発展を視野に入れながら、専門家やさまざまな分野の方と連携しながら、活動を続けていきます。



瀬戸山城、銀山街道など歴史の街にある飯南町唯一の酒蔵「赤名酒造」



舞まいうどん